

政策の柱4 住みたくなる都市基盤づくり

政策⑦ 災害や危機への備えの強化

関連するSDGs

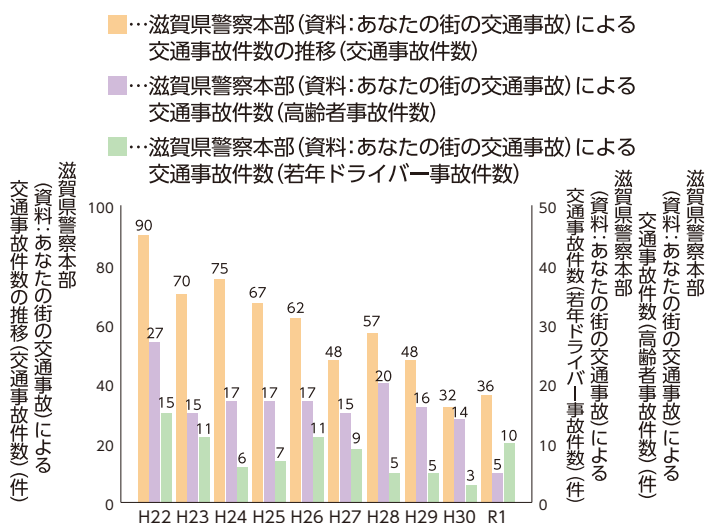
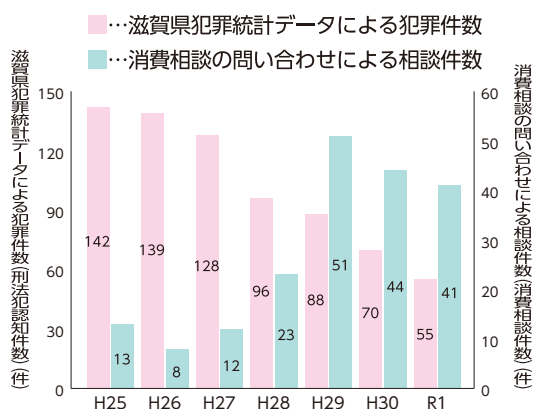


めざす姿

交通安全意識が高く、地域の見守り等により防犯体制が充実し、
安らげる暮らしが送れるまち

課題

- 交通事故が後を絶たないなかで、地域・警察・交通安全団体等の関係者と連携し、交通安全啓発や交通安全施設の充実等を図ることが必要です。
- 地域住民が安心して暮らせるように、各地区の自主防犯団体や関係機関と継続した連携を図り、地域のなかで顔の見えるつながりのもと、地域ぐるみの防犯活動を進めることが必要です。
- 架空請求や悪徳商法等の相談内容が多様化しています。相談体制の充実や啓発等により、消費者保護を図ることが必要です。



基本施策① 交通安全対策の充実

交通事故の減少、ドライバーのモラルの向上のため、地域・警察・交通安全団体等の関係者と連携を図り、子どもから高齢者までの幅広い啓発活動や、児童や生徒の安全な通学環境作り、交通安全施設の充実等に努めます。

【主な取組】 ●交通安全対策の推進

基本施策② 防犯対策の充実

警察や学校、地域の防犯団体等と連携した防犯対策の取り組みを進めます。あわせて、関係する人と人との顔の見えるつながりのなかで防犯活動ができるよう地域の取り組みを支援します。

【主な取組】 ●防犯体制の推進

基本施策③ 消費者保護の充実

複雑な消費相談に対応できるよう、県消費生活センターと連携を図り、消費相談体制の充実に努めるとともに、出前講座や広報等を通じて、住民への消費者教育の啓発を推進します。

【主な取組】 ●消費者保護の推進

指標(めざす姿の実現に向けた取組状況を把握するための数値)

	指標	基準値(R1)	目標値(R7)	目標値(R12)
①	刑法犯認知件数	55件	55件	55件
②	消費相談件数	41件	45件	45件

【関連する個別計画】

●日野町交通安全計画

※住民の皆さんのこんな声に応えていきます!

- 団体や関係機関の支援のもと、地域や家族で通学路の危険箇所を確認・共有し、地域ぐるみの防犯・交通安全活動をしていきたい。
- 地域みんなで子どもの登下校時の防犯パトロールに力を入れて見守る取り組みをしよう。



交通安全教室



防犯活動



消費相談啓発(出前講座)



政策の柱4 住みたくなる都市基盤づくり

政策⑦ 災害や危機への備えの強化

関連するSDGs



めざす姿

高い防災意識による地域ぐるみの防災体制により、
災害に強いまち

課題

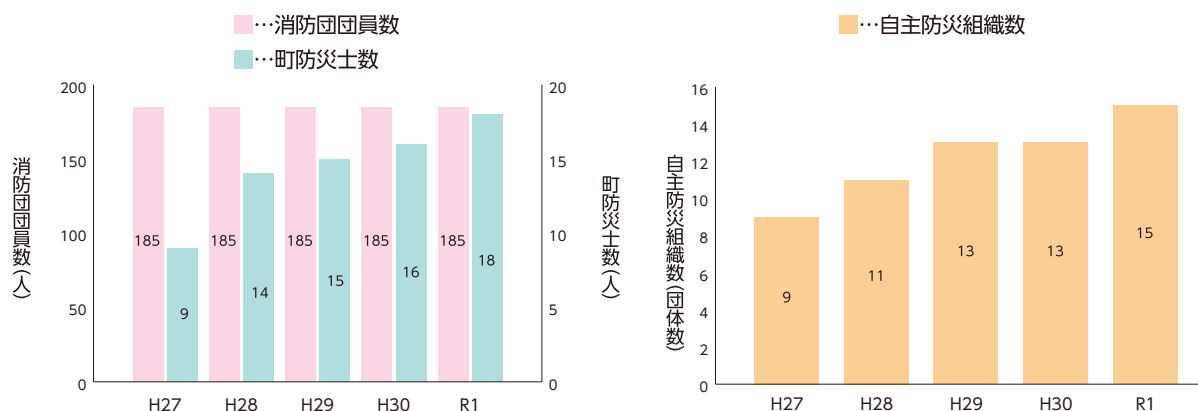
- まち全体で防災上の知識や技術の普及、防災意識の高揚に努めていますが、より実践的な訓練や情報提供の推進が求められています。

また、災害時要支援者への個別支援体制および災害時における円滑な復旧に向けた災害時応援協定の拡充が必要です。

その他、災害危険箇所への対応や安全対策としての家屋の耐震化のさらなる促進のほか、町内の土砂災害警戒区域等への対策と現存する施設の維持管理が必要です。

- 若年層の減少や就業構造の多様化、地域社会への帰属意識の希薄化に加え、消防団活動に対する過度な負担感等により、消防団員の確保が困難になりつつあります。

消防団活動の積極的な広報活動を行い、消防団員の確保に努めるとともに、消防力の充実・強化のため、消防施設や設備の定期的な更新が必要です。



基本施策① 災害に強いまちづくりの推進

防災士と連携して防災訓練や防災学習会等を開催し、防災意識の醸成を図ります。災害時要支援者の情報を地域と共有することにより、地域住民同士の共助を促すほか、民間機関等との災害時応援協定の拡充を図ります。

また、防災アプリ等を活用した防災情報の伝達手段の充実により、全住民への迅速な情報伝達に努めます。

その他、災害危険箇所の安全性の確保、避難場所となる公共施設の安全性の確保とともに、災害時用備蓄品の確保・充実を図るほか、家屋の耐震化を促進します。

土砂災害警戒区域等については、住民に対して危険箇所の周知を行うとともに、被災を未然に防止する生命を守る対策を促進し、既存施設については適正な維持管理に努めます。

治水・浸水対策として雨水幹線を整備するとともに、危険度の高い河川については、整備・改修事業を進めます。

【主な取組】 ●災害に備えた安全対策 ●地域防災力の向上 ●治水・浸水対策
●防災情報の伝達手段の拡充

基本施策② 消防力の充実・強化

安全安心な生活を守る消防団活動の理解を深めるため、積極的な広報活動を行い、地域の消防団員の確保・負担軽減に取り組み、消防団活動の機能維持、充実に取り組みます。

また、機能別団員など多様な補助団員の確保・組織化を進めるとともに、消防施設や設備等の定期的な更新を行い、地域の消防力の強化を推進します。

【主な取組】 ●消防団の機能の維持 ●地域の消防施設・設備の充実

指標(めざす姿の実現に向けた取組状況を把握するための数値)

	指標	基準値(R2見込み)	目標値(R7)	目標値(R12)
①	消防団団員数	185人	185人	185人
②	自主防災組織の組織数	15組織	25組織	40組織

【関連する個別計画】

●日野町地域防災計画 ●日野町国土強靱化地域計画

※住民の皆さんのこんな声に応えていきます!

- 防災告知システムを設置し、防災体制が必要な時にみんなに伝わるようになってほしい。
- 地域防災の先進自治体の取り組みが全町に広がるようにしたい。
- みんなで地域の災害リスクの把握と避難行動のタイムラインを作成する。
- こじんまりとしていて住みやすい町であり、声かけを心掛けるなど普段から地域のコミュニティを意識した行動は共助につながる。



政策の柱4 住みたくなる都市基盤づくり

政策⑧ 居心地のよい都市環境の整備

関連するSDGs

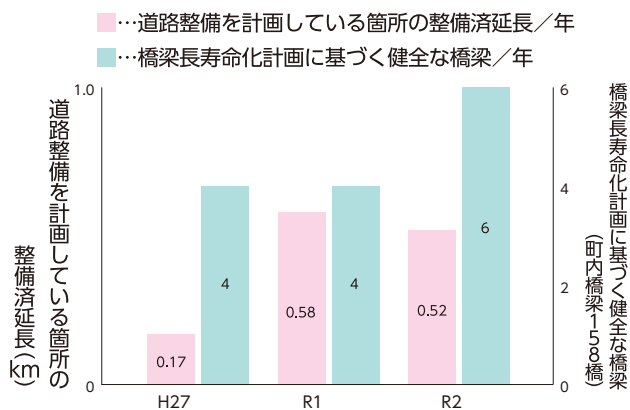


めざす姿

住民の暮らしを豊かにし交流や賑わいを生む、
秩序ある計画的な土地利用をすすめるまち

課題

- 近年の少子高齢化に伴う人口減少や、社会的ニーズの変化により、周辺集落や旧市街地では空家等が年々増加している状況であり、それぞれの地域特性に応じた秩序ある区域の整備・保全が求められています。また、商業系や工業系地域については、企業需要に充分に応じられていない状況で、低未利用土地等の活用に向けた区域の確保が必要です。農用地については、担い手の高齢化や後継者不足による耕作放棄地等が増加している状況で、良好な状態で保全しつつ、都市計画と調和のとれた調整を行う必要があります。
- 生活道路や物流、緊急避難時のための道路整備を行うことが必要になっています。また、老朽化する施設への対応、安全な通行を確保するため、適正な維持管理が必要です。



役場周辺の様子



町道 西大路・鎌掛線

基本施策① 時代の変化に対応した計画的な都市計画

近年の少子高齢化・人口減少により、地域の活力低下が進む懸念があるため、地域に賑わいが戻るよう、既存集落の土地の利活用を促しつつ、新たな市街地の形成を進め、良好な住宅地等の整備を促進します。また、商業系・工業系企業の需要に応えるため、低未利用土地等を活用できるよう、国土利用計画、都市計画マスタープラン及び農業振興地域整備計画等の整合性を図りながら総合的で秩序を持った土地利用を進めます。

【主な取組】 ●計画的な土地利用**基本施策② 安全で快適な道路整備**

道路については、渋滞や狭小箇所の解消のため、道路の新設改良や、老朽化する橋梁、舗装の修繕、町内にある道路の除草や除雪など適正な維持管理を行うことで、利用者にとって安全で快適な生活道路の充実を図ります。

また、歩行者や自転車の安全な通行を確保する道路や渋滞解消のためのバイパス等の整備に取り組むとともに、さらなる道路基盤の確立に向け、名神名阪連絡道路や主要幹線道路等の整備を、関係市町との連携により推進します。

【主な取組】 ●道路交通の整備

指標(めざす姿の実現に向けた取組状況を把握するための数値)

	指標	基準値(R2は見込み)	目標値(中間)	目標値(期末)
①	道路整備を計画している箇所の整備済延長	R1:0.75km	R5:1.94km	R9:3.36km
②	橋梁長寿命化計画に基づく健全な橋梁	R1:19橋	R5:31橋	R9:43橋
③	町道改良地区	R2:1地区	R7:1地区	R12:1地区
④	町道舗装延長(修繕)	R1:2.32km	R5:4.32km	R9:6.32km
⑤	市街化区域における地区計画区域の空閑地面積	R1:7.9ha	R7:5.0ha	R12:3.0ha

【関連する個別計画】

●日野町国土利用計画 ●日野町都市計画マスタープラン ●日野農業振興地域整備計画

※住民の皆さんのこんな声に応えていきます!

- 道路や通学路を整備し、日常生活の利便性を上げてほしい。
- 若い人が新しい住まいを構え、暮らせる環境を整備することが必要だ。
- 空き家を地域で活用し、このまちの風土や町並み、景観を保全することにより、“都市にない良さ”を残し活かしていくことが必要だ。



25

公共交通

政策の柱4 住みたくなる都市基盤づくり

政策⑧ 居心地のよい都市環境の整備

関連するSDGs



めざす姿

超高齢社会や人口減少社会にふさわしい
だれもが便利で快適な公共交通のあるまち

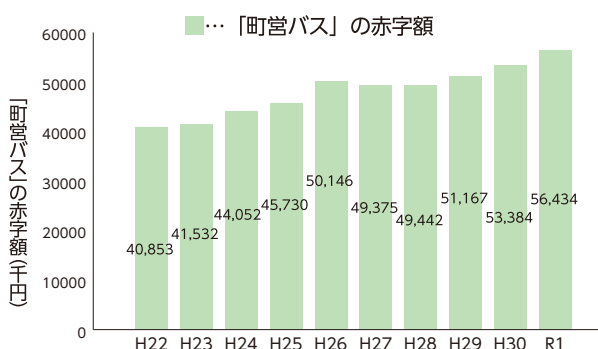
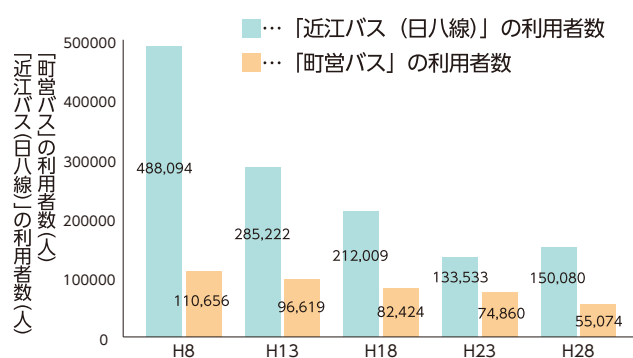
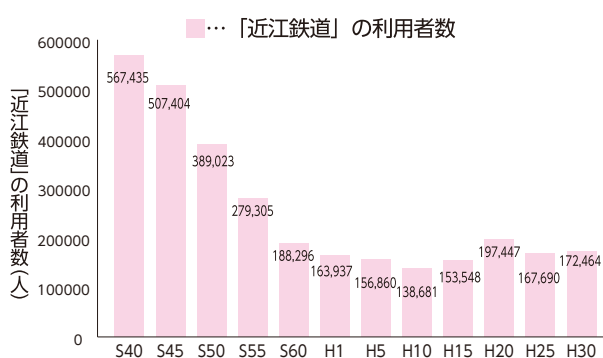
課題

●町の主な公共交通機関である近江鉄道と近江鉄道バス（日八線）、町営バスは、地域住民の町内外への大切な移動手段となっています。

しかしながら、自家用車の普及などにより、公共交通の利用者は年々減少傾向にあり、交通事業者の経営努力だけでは、経営が難しくなっています。

一方で、観光振興や町の活性化などこれからのまちづくりを支える手段の一つとして、社会的な需要が高まってきています。

さらに高齢化が加速している本町においては、運転免許返納後のニーズや依存度の高まりが予想されることから、だれもが利用しやすく、まちの活力となる持続可能な公共交通のあり方を再構築していく必要があります。



日野町営バス（ラッピングバス）

基本施策① 利用しやすい公共交通の充実

町全体の交通を見渡し、超高齢社会に対応するとともに、潜在的なニーズを捉え、住宅・医療・福祉・商業・通勤・通学・地域コミュニティをつなぐ持続可能な地域公共交通網の整備を進めることで、地域の移動需要に合う移動手段を充実させ、地域社会の活力を維持します。

【主な取組】 ●地域の移動手段の充実 ●持続可能な公共交通

指標(めざす姿の実現に向けた取組状況を把握するための数値)

	指標	基準値(R2は見込み)	目標値(R7)	目標値(R12)
①	「近江バス(日八線)」の利用者数	R1:223,300人	230,000人	240,000人
②	「町営バス」の利用者数	R1:51,043人	52,000人	53,000人
③	「近江バス(日八線)」町営バス」の住民1人あたりの利用回数	R1:12.8回/人	14.0回/人	16.0回/人
④	町営バスの利用者の少ない運行便数の割合	R2:36%	25%	15%
⑤	町営バスの収支率	R1:8.7%	10.0%	12.0%

【関連する個別計画】

●地域公共交通計画(R4策定予定) ●日野町都市計画マスタープラン

※住民の皆さんのこんな声に応えていきます!

- 交通機関の便数を増やすなど、暮らしを支える公共交通となるよう充実を図ってほしい。
- 利便性のある交通網を実現してほしい。
- 車社会から脱してもみんなが自由に気軽に出入れるまちづくりのため、みんなが公共交通機関を利用する機会をつくり、買い物や通院等、ニーズにあわせた仕組みを検討していくことが必要。



近江鉄道バス(日八線)



近江鉄道日野駅



26

住環境

政策の柱4 住みたくなる都市基盤づくり

政策⑧ 居心地のよい都市環境の整備

関連するSDGs



めざす姿

住まいが確保され、
生活環境が整い安心して暮らし続けられるまち

課題

- 南海トラフ地震等のリスクが高まる状況で、家屋の耐震改修の重要性の周知が必要です。また、空家等対策については、年々増加している現状から、所有者等への空家問題の意識啓発を図るとともに、地域の生活環境に深刻な影響を及ぼすものもあることから、その責任について理解を求めるとともに、地域全体での利活用も含め取り組みを進める必要があります。また、危険な空家等については、所有者等が遠方居住者であることや、所有者不明であることも多く、その対応については、喫緊の課題として取り組みが必要です。
- 町営住宅については、建設してから長期間が経過している状況で、計画的な建替えや、維持・補修が必要です。また入居者の高齢化も進んでいるため、施設のバリアフリー化が求められています。
- 公園整備後、長年経過し施設の老朽化が進んでいることから適切な維持管理を行いつつ、社会情勢や町民ニーズを把握しながら公園の在り方を研究していく必要があります。



町営住宅(第一内池団地)



町営住宅(第二内池団地)



町営住宅(西山団地)

基本施策① 暮らしやすい住まいの環境整備

近年危機感が高まる地震による被害を少なくするため、住宅の耐震化や危険なブロック塀の解体を推進します。

また、利活用できる空家等は貴重な地域資源と考え、地域住民や事業者等と連携・協力を図り、本町の魅力の向上と活力の維持につながるよう取り組みを進めるとともに、管理されていない危険空家等は、防災の観点からも事故等を未然に防ぐことができるよう、通知や連絡を定期的に行い、所有者等に適切な管理を促します。

また、町営住宅については、入居者が安全で快適に暮らせるよう、適正な維持管理とニーズの研究に努めます。

日野町が管理する公園については、利用者が親しみをもち、安全に利用できる公園運営を進めるとともに、公園に求められるニーズの研究に努めます。

- 【主な取組】**
- 住環境の整備の推進
 - 空き家・空き地対策の強化
 - 危険空家対策の推進
 - 公園の適切な維持管理と魅力的な公園の研究

指標(めざす姿の実現に向けた取組状況を把握するための数値)

	指標	基準値	目標値(R7)	目標値(R12)
①	家屋の耐震診断件数	R1:3件	7件	10件
②	家屋の耐震化補助件数	R1:0件	2件	3件
③	危険ブロック塀解体補助件数	R1:2件	5件	8件
④	家屋の耐震化率	H27:68.7%	95%	98%
⑤	町営住宅入居率	R1:88%	90%	95%
⑥	危険空き家の除却等の改善件数	R1:2件	10件	20件
⑦	都市公園利用者数	R1:56,495人	90,000人	85,000人

【関連する個別計画】

- 日野町既存建築物耐震改修促進計画
- 日野町国土強靱化地域計画
- 日野町住生活基本計画
- 日野町空家等対策計画
- 日野町都市計画マスタープラン

※住民の皆さんのこんな声に応えていきます!

- 空き家の利活用について、地域ぐるみでさまざまな活用を積極的に考えていくことが必要。
- 公園でのマルシェ開催など、住民主体の取り組みを支援し、活発に町民に使われる公園にしてほしい。



27

上水道・ 下水道

政策の柱4 住みたくなる都市基盤づくり

政策⑧ 居心地のよい都市環境の整備

関連するSDGs



めざす姿

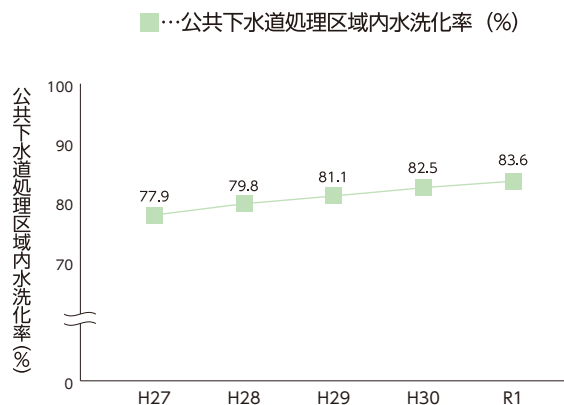
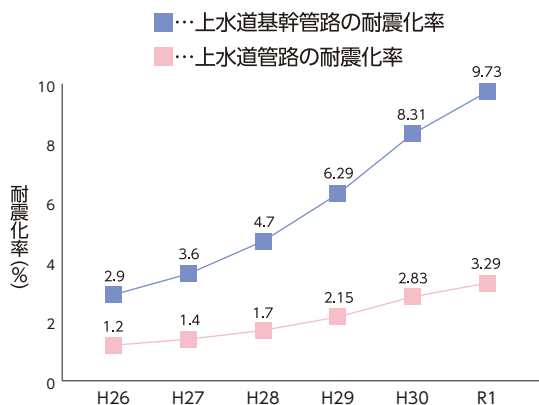
安心安全な水道水の安定供給と適切な汚水処理により、
衛生的で健康的な生活を支えるまち

課題

●水道および下水道事業ともに、持続可能な経営をするため、老朽管や施設等の継続的な維持補修が必要です。また、健全な経営を行うため、安定的な財源確保に取り組む必要があります。

水道事業については、安全な水を安定して供給し、災害に強い施設を構築するため、コストを抑えた維持管理や耐震化が必要です。

下水道事業については、下水道本来の目的である生活環境の改善・水質保全の維持のため、下水道整備区域の接続推進の必要があります。



基本施策① 安定した水道水の供給と排水処理サービスの提供

アセットマネジメントおよびストックマネジメント計画に基づき、老朽管や施設等の更新時期の平準化を図り、改築工事を実施することにより、施設の長寿命化に取り組みます。

水道事業の耐震化については、基幹施設等への基幹管路の更新・耐震化工事に取り組みます。

下水道事業の接続率の向上のため、公共下水道および農村下水道への接続推進と区域外の合併処理浄化槽の設置の促進に取り組みます。

【主な取組】 ●水道水の安定供給 ●水道経営 ●下水処理

指標(めざす姿の実現に向けた取組状況を把握するための数値)

	指標	基準値(R1)	目標値(R7)	目標値(R12)
①	上水道基幹管路の耐震化率	9.73%	27.41%	40.66%

【関連する個別計画】

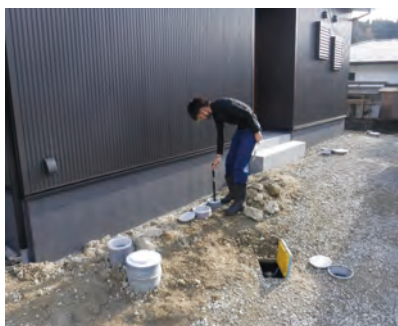
- 日野町水道事業資産管理(アセットマネジメント)
- 日野町水道事業管路耐震化・更新計画 ●日野町水道事業基本計画
- 日野町水道ビジョン ●日野町下水道ストックマネジメント計画
- 日野町農業集落排水施設最適整備構想

※住民の皆さんのこんな声に応えていきます!

- 災害時でも安定して供給するために、老朽化した施設の更新・部品の交換や耐震化などの取り組みが必要。



災害給水訓練の様子



下水道宅内検査の様子



基幹配水管設置工事の様子



政策の柱4 住みたくなる都市基盤づくり

政策⑧ 居心地のよい都市環境の整備

関連するSDGs



めざす姿

日野にいきづく伝統文化を継承し、
歴史遺産や暮らしの風景をまもり未来につなぐまち

課題

- 町並みを形成している、歴史的建造物の老朽化と空き家・空き地の増加、人が立入らない未整備の里山の有害鳥獣による被害、また太陽光パネルによる景観阻害が問題視されていることから、既存の町並みを適切に保全し、増加傾向にある空き家等を利活用していくことで、景観やコミュニティの維持を図り、その魅力を町内外に発信することで、町並みを活かしたまちづくりが求められています。

また、農村や町並みに配慮した公共事業や建物の建築、看板設置等に関しては、景観形成の指針や滋賀県の「近隣景観形成協定」制度の周知が必要です。

住民の歴史遺産に対する意識を高め、「日野まちなみ保全会」等と連携し、景観保全に取り組むことが必要です。



わたむき山とコスモス



栈敷窓

基本施策① 自然・歴史・まちの特性を活かした景観の保存・活用

本町の美しい文化財や歴史的景観を地域住民や団体とともに、有効に活用したまちづくりを推進します。

また、獣害対策については、景観保護のために集落と連携して里山整備を推進します。

周囲の風景と調和しない色彩や規模のものについては、乱立を規制するため、「ふるさと滋賀の風景を守り育てる条例」や「滋賀県屋外広告物条例」に基づく指導を行い、沿道の景観形成に努めるとともに、住民が自信と誇りをもって住み続けられるよう、地域が一体となって農村や歴史的な町並みに調和した景観形成を推進する近隣景観形成協定に取り組めます。

また、沿道の花づくりや、花のまちづくりに向けた地域の取り組みを促進し、住民が誇れる「花のまち 日野」を目指します。

【主な取組】 ●町並みの保全・活用 ●自然・歴史・まちの特性を活かした景観形成
●景観保全

指標(めざす姿の実現に向けた取組状況を把握するための数値)

	指標	基準値(R1)	目標値(R7)	目標値(R12)
①	近隣景観形成協定に取り組む地域数	0件	1件	2件

【関連する個別計画】

●ふるさと滋賀の風景を守り育てる条例 ●滋賀県屋外広告物条例

※住民の皆さんのこんな声に応えていきます!

- この美しい田園風景や歴史ある町並みを次世代に残しつつなくことは大切なことだと思う。
- このまちを誇りに思いながら町並みを守り、みんながいきいきと暮らせるようにしたい。
- 在来工法の建築物についての勉強会や先進地域への見学会などにより、自分たちのまちの良さを知ることが大切。



清水町の町並み



旧正野薬店(日野観光協会)



政策の柱4 住みたくなる都市基盤づくり

政策⑧ 居心地のよい都市環境の整備

関連するSDGs

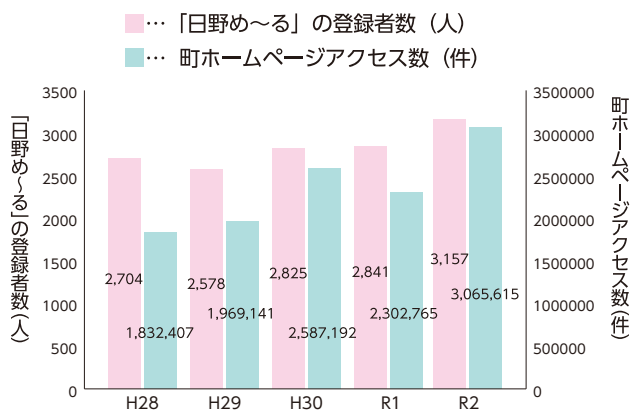


めざす姿

地域の活力につながるタイムリーな情報の収集と発信により、
だれもが積極的にまちづくりに参画するまち

課題

- 町内外での様々な取り組みやイベント等の情報が、集約できておらず、情報を求める人にタイムリーな情報提供が求められています。
また、地域の活力につながるような町の魅力をタイムリーに発信することが必要です。
- ICT技術の発展と住民生活への浸透は、コロナ禍によりさらに加速しています。日常生活におけるICT技術の活用が進むなか、より安全に多くの人がサービスを享受できるようにしていく必要があります。



基本施策① 人の動き・町の様子が伝わる情報発信

タイムリーなまちの情報を収集し、その魅力を発信していくとともに、住民や企業と行政が連携し、誰もがこのまちの良さを認識し、まちの魅力の情報収集と住民自らによる情報発信の仕組みづくりを促進します。

- 【主な取組】 ●地域の活力につながる情報収集の推進
●住民や企業と行政が連携したタイムリーな情報発信の促進

基本施策② 時代に対応したICT技術の活用

コロナ禍でICT技術の普及が加速するなか、地域の新たな可能性を検証し、日常生活の利便性や効率性を向上させ、地域活力の発展につなげるため、安心安全により多くの人々がサービスを享受できるよう取り組みを進めます。

- 【主な取組】 ●新たな生活様式での情報化社会への対応

指標(めざす姿の実現に向けた取組状況を把握するための数値)

	指標	基準値(R2見込み)	目標値(R7)	目標値(R12)
①	「日野め〜る」の登録者数	3,157人	3,600人	4,000人
②	町ホームページアクセス数	3,065,615件	3,400,000件	3,800,000件

※住民の皆さんのこんな声に応えていきます!

- 地域も行政もあらゆる方法でイベント等の情報を発信していくことが必要。
 - SNSやWEBを活用してまちの良い点を住民主体で発信してみんなでPRする。
 - インターネット等で意見を吸い上げ、意見交換できる環境をつくることができるとうい。
- しくみと人のつながりの両方を大事にしていくことが大切。



30

進取の まちづくり

政策の柱5 みんなではぐくむ地域づくり

政策⑨ 住民が主人公の地域形成

関連するSDGs



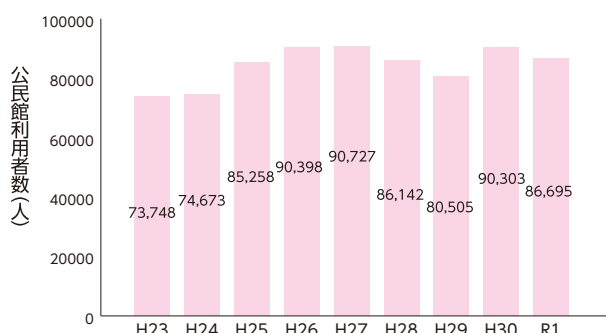
めざす姿

地域の課題解決や活性化に向け、住民自ら学びあい主体的で活発な自治活動があり、多機能な公民館を拠点とした協働と自治の力で時代に合うそれぞれの特色ある地域づくりが進むまち

課題

- 住民団体やボランティア団体、NPO、企業・事業所等の交流や情報共有を図る必要があります。
また、それらの団体間をコーディネートする機能が必要です。新しく地域課題に取り組もうとするボランティアの組織化、育成に対する支援が必要です。
- 特色ある7つの公民館活動の発展と資質向上を図るため、公民館関係者の情報交流と研修、学習が必要です。
また、住民自らが地域課題に気づき、解決するための話し合いの場づくりや学習活動に取り組むしかけや仕組みが求められています。
幅広い世代や自治会に加入していない住民も、公民館等の社会教育活動や地域活動に参加・参画できるよう、時代のニーズにあった事業や機会づくりが必要です。
- 少子高齢化と人口減少が加速化する社会のなかで、住民自らが地域の困りごとや課題を発見し、我が事として捉えるなかで、地域づくりについて学び、地域の課題解決に向けて、取り組みにつなげることが必要です。

…公民館利用者数



まちづくりみらいカフェ



各地区まちづくり懇談会

基本施策① 協働のまちづくりの推進

誰もがまちづくりの主体となれるよう、各種団体やNPO等、地域のさまざまな活動を支援し協働の取り組みとするなかで、SIB(ソーシャルインパクトボンド)の手法も取り入れ、共にまちづくりを進めます。

また、新しく意欲を持って地域課題等に取り組もうとするボランティア活動を支援し、中間支援組織を育成します。

【主な取組】 ●次代を担う人材の発掘 ●市民活動(団体)の活躍のための仕組みづくり

基本施策② 公民館を中心とした社会活動への参画と地域づくり

各種事業やイベントを通じて、身近な施設としての公民館を目指します。

また、地域課題解決のための学習活動の取り組みや地域の人と人とのつながりを育み「つどう」「まなぶ」「むすぶ」を合言葉に住民の生涯学習と地域づくりの拠点となる活動を推進します。

さらに、職員自らの学習活動を推進し、各地区の取り組みの情報交換や公民館活動の充実につなげます。

【主な取組】 ●地域コミュニティの拠点づくり ●公民館単位の地域づくり

基本施策③ 住民の自治活動の活性化

地域での人と人とのつながり(きずな)を育み、顔の見える関係のもと、住民が自ら暮らしやすい地域をつくり、安全で安心して住み続けられるまちを目指します。

また、地域の力を活かした課題解決能力を高めることで、住民の活発な自治活動を持続発展させ、地域の課題について、住民自ら発見し、学び、取り組んでいくまちを目指します。

【主な取組】 ●中山間地域の活力の維持 ●自治会活動の維持 ●地域コミュニティの活性化に向けた仕組みづくり

指標(めざす姿の実現に向けた取組状況を把握するための数値)

	指標	基準値	目標値(中間)	目標値(期末)
①	まちづくり計画の策定自治会数(累計)	R1:16自治会	R7:24自治会	R12:32自治会
②	協働のまちづくりができていると思う人の割合	H30:44.9%	R6:50%	R10:55%
③	公民館利用者数	R1:86,695人	R7:88,000人	R12:90,000人

【関連する個別計画】

●日野町教育振興基本計画

※住民の皆さんのこんな声に応えていきます!

- 自治会のあり方を時代に合わせた形に変えていくことが大事だと思う。行政とともに取り組みをすすめたい。
- それぞれの立場の人が協力し合って、住民が主体性を持てるような仕組みがあることが大切だと思う。
- 自分の住んでいる集落から住みやすい環境をつくっていききたい。
- 地域の活動について女性や若者の意見を取り入れ、今に合うような形で取り組んでいくことが必要。
- 学びやすい環境にある公民館について、その活動の内容をわかりやすく宣伝し、若者向けの事業を増やしたり世代間交流の場にするなど、公民館の行事で地域を盛り上げることが大切。一方で高齢化のため行事の簡素化も同時に考えていくことが必要と思う。
- 公民館や自治会の活動が進んだまちで、自分たちの地域を自分たちで守る気概がある。その中で、自治会の改編の検討を進めていくことが必要となってきた。
- 地域の人と顔を合わせる行事を行っていくとともに、若者が住みたい地域づくりも考えていくことが必要。



31

交流・移住

政策の柱5 みんなではぐくむ地域づくり

政策⑨ 住民が主人公の地域形成

関連するSDGs

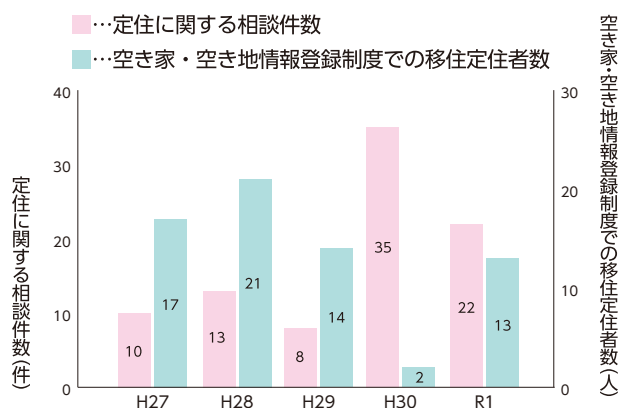


めざす姿

国内外の人と地域が交流することで、
多文化の相互理解を深め新しい価値が生まれ共生が進むまち

課題

- 移住を進めるためには、これまでの地域の習慣や風習を含め、日野で暮らすイメージを持つことが重要です。「日野暮らし」のために必要な衣食住・子育て・医療等総合的な情報発信ができる体制を整えるとともに、「お試し移住」等ゆるやかな移住を進める体制の構築が求められています。
また、まちの資源を活かした多様な交流から、このまちの魅力を仲介に人同士がつながり、将来の移住につながる関係人口の創出を図る必要があります。
- 在住外国人の国籍が多様化しており、地域で安心して暮らせるための、相談体制づくりと地域の啓発活動や交流の場づくりが必要です。



進取のまちづくりシンポジウム
「ボくらが日野に住む理由」

基本施策① 交流移住の促進

移住希望者の視点に立ち、新しい時代の流れや価値観の変化に合わせ、日野で暮らすために必要な衣食住・子育て・医療等の情報を総合的に発信できるよう、移住相談体制の充実を図ります。

また、日野で暮らすイメージを持ち、移住を後押しできるような情報発信とゆるやかな移住を進める受け入れ体制の構築に努めます。

さらに、他から日野に関心を持ち、地域の人との交流により、将来の移住につながるような取り組みや、地域の特色を生かし、子どもにまちへの誇りと愛着を持たせ、転出しても継続的に地域と関わることができるような仕組みを作ること、関係人口の創出を図ります。

- 【主な取組】 ●移住に関する相談体制の充実 ●情報発信の拡充
●交流・移住体験の実施 ●UIターン受入の充実 ●関係人口の創出

基本施策② 多文化共生理解の促進

様々な文化や生活習慣の違いを超え、互いに理解し合い、地域の一員として、安心して暮らすことと、地域活動にも参画できるような、地域づくりのための啓発活動や交流の場づくりに取り組みます。

- 【主な取組】 ●多文化共生の地域づくり

指標(めざす姿の実現に向けた取組状況を把握するための数値)

	指標	基準値(R1)	目標値(R7)	目標値(R12)
①	定住に関する相談件数	22件	25件	30件
②	空き家・空き地情報登録制度での移住定住者数(累計)	142人	230人	320人

【関連する個別計画】

- 日野町空家等対策計画

※住民の皆さんのこんな声に応えていきます!

- 町外から転入してきた人々が受け入れられ、住みよいまちになることが必要。
- 日野町の魅力を感じた人たちが集まり、暮らしを豊かにしていくことができるまちになってほしい。
- 相互理解のため、外国人移住者との交流の場をつくる必要があるのではないか。



移住者懇談会



32

公共施設

政策の柱5 みんなではぐくむ地域づくり

政策10 時代の変化に柔軟に対応できる行財政運営

関連するSDGs



めざす姿

公共施設が適切に管理され、
最適な公共サービスが提供されるまち

課題

- 公共施設の老朽化が進行し、大規模改修等が同時期に重なります。安全・安心な施設利用を維持するため、公共施設の現状を把握し、計画的な大規模改修・更新が必要です。また、大規模改修等に伴う財政負担の増大が見込まれるため、財政負担の平準化および公共施設の今後のあり方の検討が必要です。



西川原橋(中之郷)



大谷公園体育館



必佐小学校

基本施策① 適切な公共施設の管理

各公共施設の劣化度等の現状を整理して計画的な大規模改修等を行うことにより、財政負担の平準化を図ります。

また、少子高齢化の進行による影響や住民ニーズに沿った公共施設等総合管理計画の見直しおよび公共施設のあり方について検討を進め、適切な公共施設の運営を行い、最適な公共サービスの提供を目指します。

【主な取組】 ●長寿命化・財政負担の平準化 ●公共施設の有効利用

【関連する個別計画】

- 日野町公共施設等総合管理計画 ●日野町林道施設長寿命化計画
- 町民会館わたむきホール虹長寿命化計画 ●日野町下水道ストックマネジメント計画
- 日野町学校施設の長寿命化計画 ●日野町農業集落排水施設最適整備構想
- 日野町公園施設長寿命化計画 ●日野町水道事業基本計画
- 日野町町営住宅長寿命化計画 ●日野町水道事業管路耐震化・更新計画
- 日野町立地区公民館長寿命化計画
- 日野町水道事業資産管理(アセットマネジメント)
- 日野町立図書館長寿命化計画 ●日野町水道ビジョン
- 日野町橋梁長寿命化修繕計画 ●日野町水道施設耐震診断基礎調査及び耐震基本計画
- 日野町道路舗装修繕計画 ●日野町水道事業経営戦略
- 日野町農道施設(トンネル)長寿命化計画 ●日野町農道施設(橋梁)長寿命化計画



町立図書館



町民会館わたむきホール虹



日野公民館



政策の柱5 みんなではぐくむ地域づくり

政策10 時代の変化に柔軟に対応できる行財政運営

関連するSDGs



めざす姿

社会情勢の変化に柔軟に対応し、限りある財源で最大の効果を追求し、持続的に行政サービスが提供されるまち

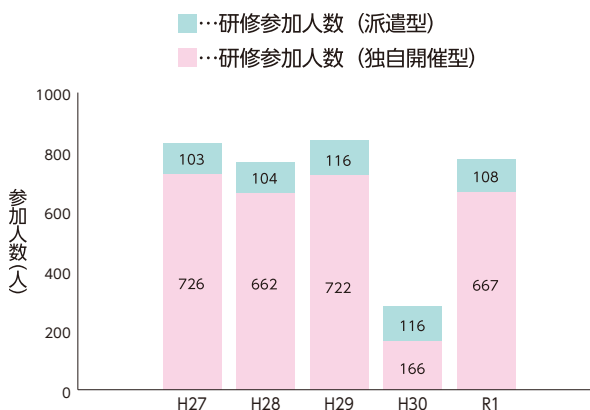
課題

- 地域のあり方や行政の担うべき役割について、相互の認識の共有化を図り、住民と行政が協働した取り組みを進める必要があります。

また、行政評価の内容を関係課で共有し、住民の満足度を分析するしくみや成果目標を明確にする必要があります。

広域行政については、構成団体に変動等があった場合のスムーズな対応が必要なほか、計画的な施設整備が必要です。

人材育成については、様々な社会環境の変化に伴う対応が求められるため、専門知識の習得のほか、多様な住民ニーズを的確に把握し、将来を見据えた施策に反映できる政策形成能力と業務遂行能力の向上が求められています。



基本施策① 適切な行政運営

行財政の現状や地域のあり方、課題、行政の担うべき役割を明確にするため、住民の豊富な知識・経験・感性を町政やまちづくりに活かせるよう、住民参画を推進します。

また、総合計画の施策の進捗管理や行政評価・事務事業の見直しにおいて、限りある財源を重点的・効率的に配分し、各課が連携して施策の実現に取り組みます。

広域行政については、効率的な行政運営を目指して、ごみ処理や消防等を中心に近隣市町と連携して取り組みます。

その他、新たな時代に対応した人材育成を効果的に進めるため、職場における人材育成（OJT）をベースに、自己啓発や専門知識の取得を促進し、将来の町行政を担う職員としての政策形成能力と業務遂行能力の向上に努めます。

【主な取組】 ●住民参画の推進 ●行政サービスの適正化 ●行政評価 ●広域行政
●人材育成・人材マネジメント

指標（めざす姿の実現に向けた取組状況を把握するための数値）

	指標	基準値(R2見込み)	目標値(R7)	目標値(R12)
①	派遣型研修 参加率	45%	48%	50%
②	独自研修開催数	6回	8回	10回

【関連する個別計画】

- 日野町人材育成基本方針
- 日野町障がい者活躍推進計画
- 女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画

※住民の皆さんのこんな声に応えていきます！

- これからも顔の見える関係の行政であってほしい。
- 官民一体で町の発展に取り組んでほしい。
- 他自治体との連携でサービスの質的向上を意識してほしい。



34

財政 基盤

政策の柱5 みんなではぐくむ地域づくり

政策10 時代の変化に柔軟に対応できる行財政運営

関連するSDGs

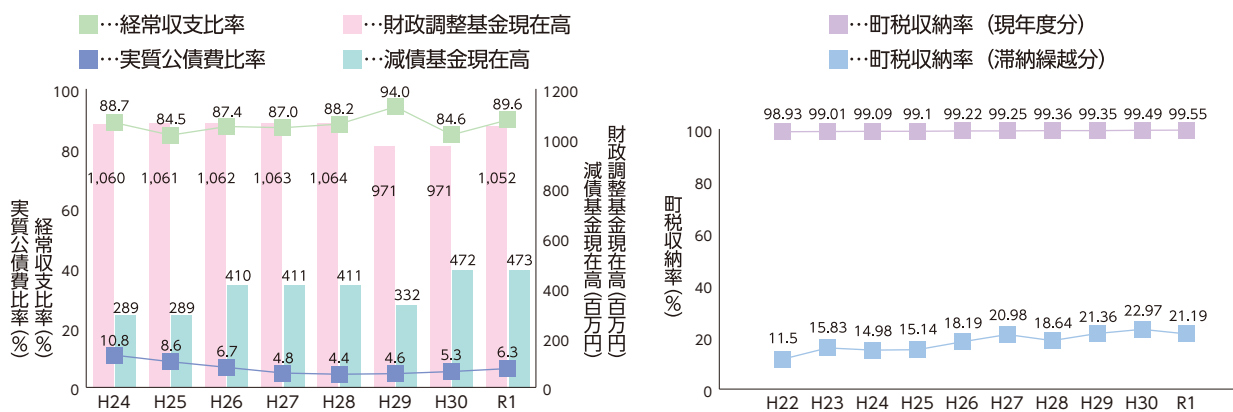


めざす姿

適切な税収の確保により将来にわたり
持続可能で安定的な行財政基盤のあるまち

課題

- 安定した財政基盤を確保するため、町税等の歳入の確保に努めるとともに、収納率の向上と滞納額の縮減に向け、滞納整理のさらなる取り組みが必要です。また、安定した持続可能な行政運営のため、財政情報の共有化や歳入に見合った歳出の徹底、積極的な新たな財源の確保が必要です。



基本施策① 安定のある行財政基盤づくり

町税等の負担の公平性・公正性および自主財源の確保のため、関係課との連携により、滞納整理および積極的な歳入確保に全庁的に取り組むとともに、歳出の抑制にも取り組み、長期的に安定した財政基盤の確立を目指します。また、住民の理解等を得るために、予算や決算状況等、町の財政状況について、住民に向けて分かりやすい情報の提供に努めます。

【主な取組】 ● 確実な税の徴収 ● 健全な財政運営

指標(めざす姿の実現に向けた取組状況を把握するための数値)

	指標	基準値(R2は見込み)	目標値(R7)	目標値(R12)
①	財政調整基金現在高	R1:1,052百万円	1,100百万円	1,200百万円
②	減債基金現在高	R1:473百万円	550百万円	600百万円
③	町税収納率(現年度分)	R1:99.55%	99.60%	99.65%
④	町税収納率(滞納繰越分)	R1:21.19%	23.00%	25.00%
⑤	滞納繰越分調定額	R2:82,092千円	70,000千円	58,000千円

【関連する個別計画】

- 日野町町税・国民健康保険税滞納整理基本方針
- 日野町債権管理マニュアル
- 日野町中長期財政見通し

※住民の皆さんのこんな声に応えていきます!

- 将来世代に、過度の負担を残さないようにしないと。



SDGsについて

持続可能な開発目標 (SDGs:Sustainable Development Goals) とは、2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。

SDGsの17の目標

- | | | | |
|---|--|---|---|
|  1 貧困をなくそう | 目標1: 貧困をなくそう
あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる |  9 産業と技術革新の基盤をつくろう | 目標9: 産業と技術革新の基盤をつくろう
災害に強いインフラの構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る |
|  2 飢餓をゼロに | 目標2: 飢餓をゼロに
飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する |  10 人や国の不平等をなくそう | 目標10: 人や国の不平等をなくそう
国内及び各国家間の不平等を是正する |
|  3 すべての人に健康と福祉を | 目標3: すべての人に健康と福祉を
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する |  11 住み続けられるまちづくりを | 目標11: 住み続けられるまちづくりを
包摂的で安全かつ災害に強く、持続可能なまちや地域を実現する |
|  4 質の高い教育をみんなに | 目標4: 質の高い教育をみんなに
すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する |  12 つくる責任 つかう責任 | 目標12: つくる責任つかう責任
持続可能な方法で生産し、消費する |
|  5 ジェンダー平等を実現しよう | 目標5: ジェンダーの平等を実現しよう
すべての人が性を理由に差別をされないようにし、すべての女性や女の子にエンパワメントを行う |  13 気候変動に具体的な対策を | 目標13: 気候変動に具体的な対策を
気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる |
|  6 安全な水とトイレを世界中に | 目標6: 安全な水とトイレを世界中に
水と衛生的な環境を適正に管理し、だれもが水と衛生的な環境を得られるようにする |  14 海の豊かさを守ろう | 目標14: 海の豊かさを守ろう
持続可能な開発のために、海や海の資源を守り、持続可能な形で利用する |
|  7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 目標7: エネルギーをみんなにそしてクリーンに
安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーをすべての人が使えるようにする |  15 陸の豊かさを守ろう | 目標15: 陸の豊かさを守ろう
陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する |
|  8 働きがいも経済成長も | 目標8: 働きがいも経済成長も
包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々が働きがいのある人間らしい仕事をできるようにする |  16 平和と公正をすべての人に | 目標16: 平和と公正をすべての人に
持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々が司法を利用でき、地域・国・世界のどのレベルにおいても効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する |
| | |  17 パートナリシップで目標を達成しよう | 目標17: パートナリシップで目標を達成しよう
持続可能な開発のための実施手段を強化し、世界中が協力する |